

矢作地区路線の現状報告について

1 はじめに

本市西部に位置する矢作地区では、区内を運行する路線バスの利用者数の減少及び今後高齢化が進む地域の移手段の確保等の課題がある。これらの課題に対応するため、令和元年9月、既存バス路線の再編及びエリアバス導入等を目的とした「矢作地区エリアバス導入検討会議」を発足した。その後も、各学区老人クラブ及び福祉委員会の代表者等を中心に、現在までに計5回開催し、課題解決に向けた検討を進めている。今回、本会議にて地域での検討状況等の現状報告を行う。

2 矢作地区の概要

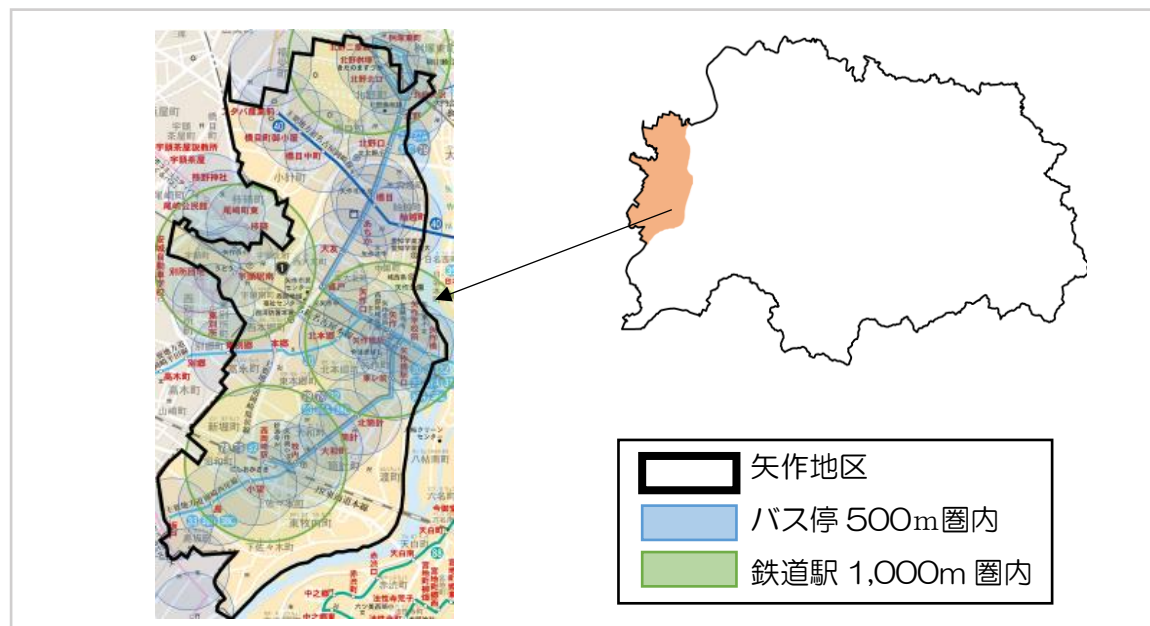
- 面積 19.6 km²
- 人口 58,473 人

人口等	総数(人)	男性(人)	女性(人)	世帯数(世帯)
年齢区分(才)	58,473 (387,106)	30,616 (196,578)	27,857 (190,528)	25,305 (164,390)
～14	8,109 (55,382)	4,157 (28,555)	3,952 (26,827)	—
15～64	38,068 (241,691)	20,671 (127,069)	17,397 (114,622)	—
65～	12,296 (90,033)	5,788 (40,954)	6,508 (49,079)	—
高齢化率	21.0% (23.3%)	18.9% (20.8%)	23.4% (25.8%)	—

(人口等は令和2年4月1日時点。上段：矢作地区、下段：市内全域)

3 公共交通力バー状況

矢作地区には鉄道駅が4駅、バス路線が6路線あり、地区の多くが公共交通力バー地域に含まれている。



▲図1 公共交通力バー状況

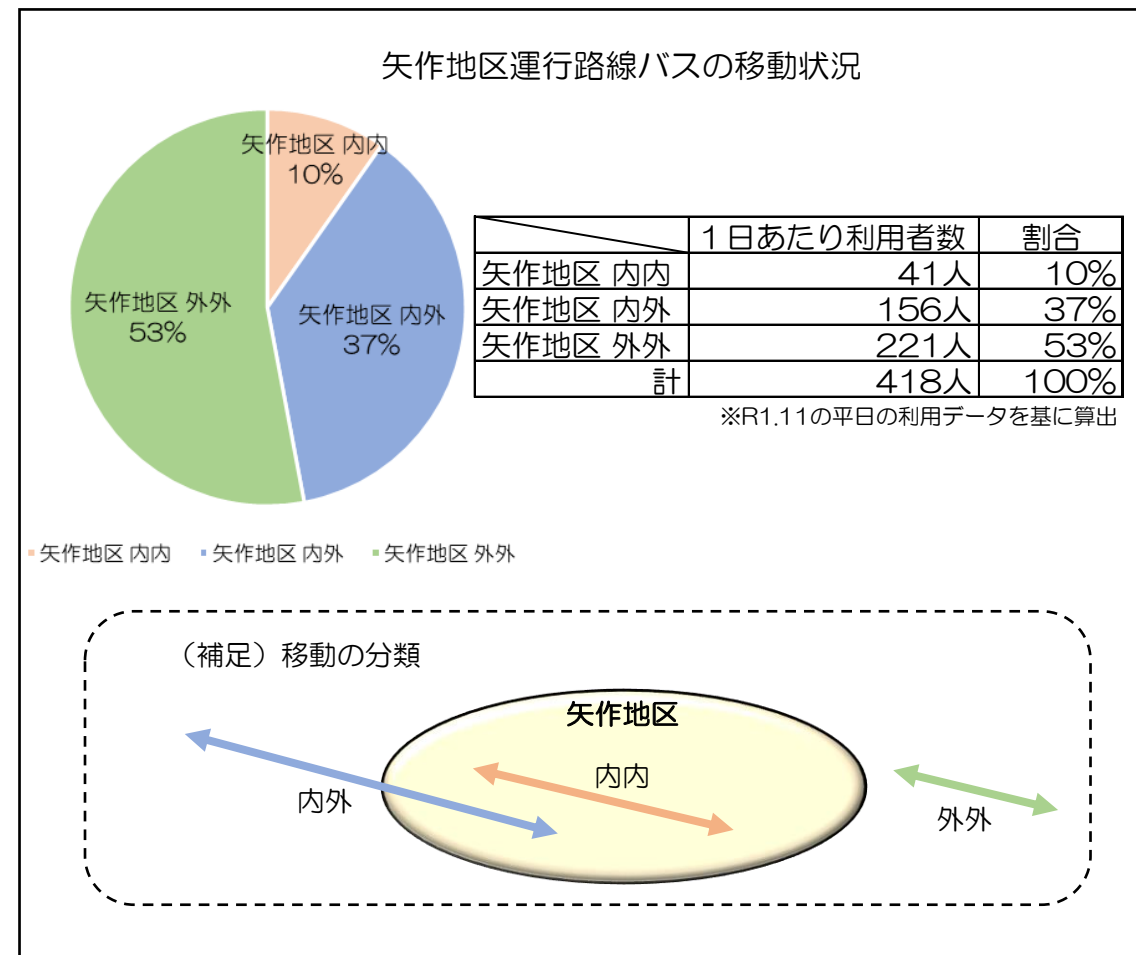
4 現在までの検討状況

日付	実施内容等
令和元年9月19日	第1回矢作地区エリアバス導入検討会議 内容：他市事例（豊明市のチョイソコとよあけ等）の紹介等
令和元年10月9日	第2回矢作地区エリアバス導入検討会議 内容：矢作地区運行路線バスの現況報告等
令和元年11月6日	第3回矢作地区エリアバス導入検討会議 内容：アンケート実施及び路線再編イメージ等について検討
令和2年1月24日	第4回矢作地区エリアバス導入検討会議 内容：アンケート案の検討及び六ツ美中部学区の現況等報告等

5 矢作地区を運行する路線バスの利用状況

(1) 移動範囲について

- ・「矢作地区 内内」の利用者は全体の10%（1日あたり41人）であり、「矢作地区 外外」及び「矢作地区 内外」利用者が90%（1日あたり377人）を占める。
→主な移動需要は東岡崎駅等の矢作地区外を目的地とした移動と考えられる。



▲図2 矢作地区運行路線バスの移動状況

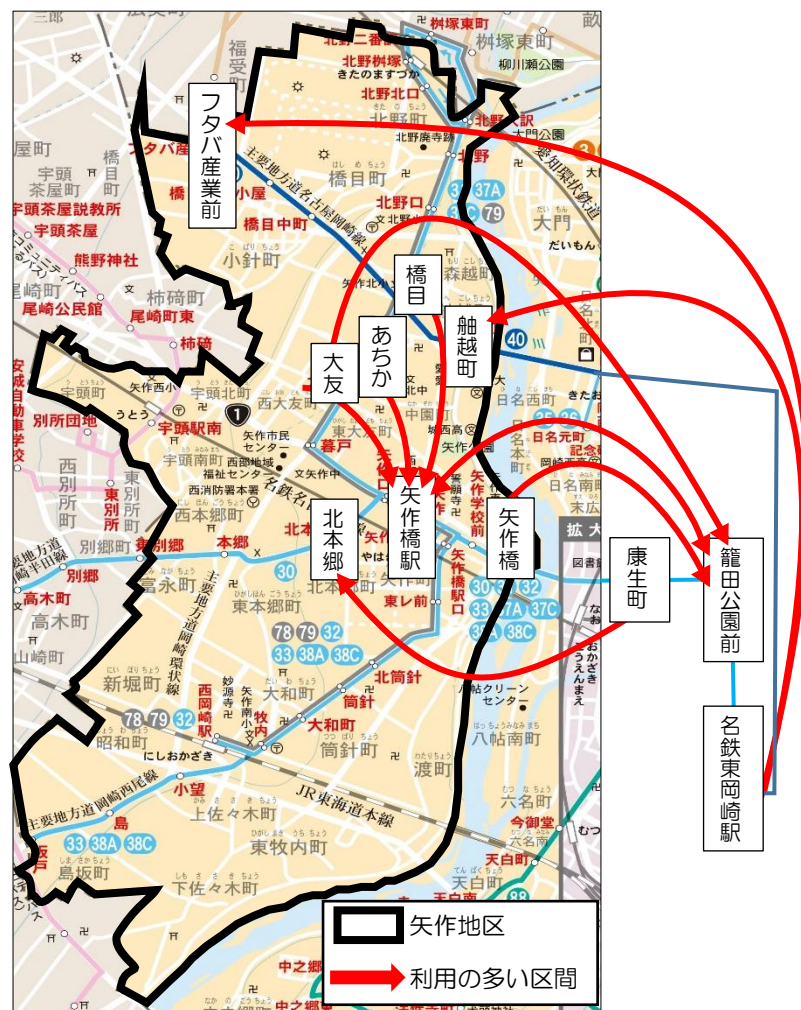
(2) 利用の多い区間

◎矢作橋駅や籠田公園前までの利用が多い。

【利用の多い上位10区間】

乗車停留所	降車停留所	1日あたり利用者数(人)
1 あちか(住宅地)	⇒ 矢作橋駅(鉄道駅)	3.7
2 大友(住宅地)	⇒ 籠田公園前(小学校)	3.5
3 康生町(商業施設)	⇒ 北本郷(住宅地)	3.1
4 矢作橋駅(鉄道駅)	⇒ 籠田公園前(小学校)	3.0
5 籠田公園前(小学校)	⇒ 矢作橋駅(鉄道駅)	3.0
6 矢作橋(園道沿い)	⇒ 籠田公園前(小学校)	2.4
7 橋目(住宅地)	⇒ 矢作橋駅(鉄道駅)	2.4
8 名鉄東岡崎駅(鉄道駅)	⇒ フタバ産業前(企業)	2.4
9 名鉄東岡崎駅(鉄道駅)	⇒ 船越町(商業施設)	2.3
10 大友(住宅地)	⇒ 矢作橋駅(鉄道駅)	2.2

※ ○内は停留所近くの主な施設等
 ※R1.11の平日の利用データを基に算出
 ※矢作地区外停留所どうしの利用は除く



▲図3 利用の多い区間

(3) 路線ごと利用者数等について

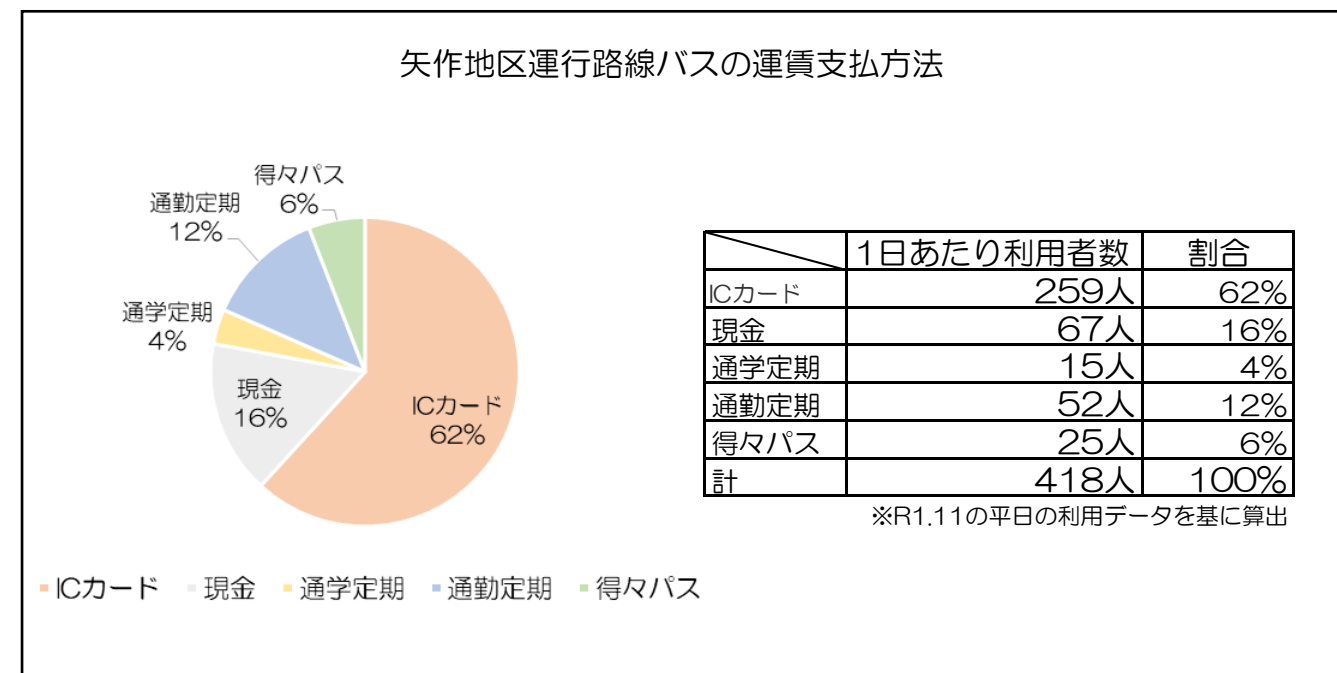
- 1日あたり利用者数は路線全体でも352人であり、本市黒字路線と比較すると大幅に少ない。(本市黒字路線岡崎市内線は約7,000人、額田地区運行路線は約200人)
- そのうち通勤・通学利用者数は1日あたり65人だが、矢作地区内停留所での利用者数に限定すると、1日あたり11人にまで減少する。

路線	年間利用者数	1日あたり利用者数	左記のうち 通学・通勤利用者数 ○内は矢作地区内停留所での利用者数	運行便数/日		R1 本市補助額
				平日	休日	
30 岡崎・安城線	46,450人	127人	28人(1人)	25便	24便	13,850千円
31 上郷線	12,893人	35人	5人(1人)	8便	7便	9,059千円
32・33 岡崎・坂戸線	8,775人	24人	5人(3人)	6便	6便	4,914千円
37A・37C・38A・38C 矢作・市民病院線	29,082人	79人	9人(2人)	9便	9便	22,166千円
40 岡崎線	27,416人	75人	17人(3人)	10便	10便	6,994千円
78・79 矢作循環線	4,741人	12人	1人(1人)	3便	2便	5,478千円
路線合計	129,357人	352人	65人(11人)	61便	58便	62,461千円

※年間利用者数はコロナの影響のないH30年度の数値
 ※通勤・通学利用者数はR1.11の平日の利用データを基に算出

(4) 運賃支払い方法について

- ICカード及び現金での利用が全体の78%を占める。(ICカード：62%、現金：16%)
- 通学及び通勤定期での利用は全体の16%と少ない。(通勤：12%、通学：4%)



▲図4 矢作地区運行路線バスの運賃支払方法

(5) まとめ

- ◎矢作地区のバス利用者は額田地区を少し上回る程度であり、少ない。
(1日あたり352人※額田地区運行路線は約200人、本市黒字路線岡崎市内線は約7,000人)
- ◎矢作地区内の移動(矢作地区内内)に限定すると利用者はさらに少ない。
(1日あたり41人、利用者の10%のみ)
- ◎矢作橋駅や籠田公園前までの移動が多い。
- ◎通勤・通学でのバス利用者は1日あたり65人いるがそのほとんどが矢作地区以外で乗降している。(矢作地区内内及び内外の移動に限定すると11人まで減少)